

日刊 動労千葉

86. 10. 19

No. 2384

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

千葉運転区支部 第9回定期大会 「鉄当局・動労革小連合による」広域配転、雄断な

※※※※※

十月十一日、動労千葉・千葉運転区支部第九回定期大会が開催され、今、正念場中の正念場の闘いをむかえて再度「分割・民営化」攻撃の狙いはつきりさせ、第三波闘争に全力で決起する方針を確認した。

いまこそ真の団結が問われている



永田 支部長

十三時半、後藤執行委員の開会あいさつが行われ、議長に佐久間英雄氏を選出した後、支部を代表して永田支部長があいさつにたち、「二波の闘いをやりぬく中で、今大会を契機に団結が真に問われている。組合員一人ひとりに不安がないといつたらうそになる。全員がこのままだと願う中で敵の攻撃はそれさえを許さない。だとしてたら団結して闘っていくしかない。本音を出し合って討論してほしい」と述べた。

続いて、乗務員分科・小島会長から「三項八号乱発、夏季手当カット、ミス処分などを乱発する一方で馬車ウマのごとくこき使い、八万人の『余剰人員』を生み出したあげく首切りという攻撃が六一・一一ダイ改だ。断じて認めるわけにはいかない」と力強いあいさつを行った。

広域配転送り込みを狙う当局

この間、上映オルグとして全国を歩きまわってきた中村青年部長から「全国の国鉄職場を訪ねて『人活』のハリストなどは闘わなければ生きていけないことを訴えている」と報告がなされた。そして、不当にも「人材活用センター」へ配転させられた仲間から闘いの報告として「毎日、管



「情勢は昨年大会以上に闘いを求めている」5時間半にもわたる熱心な討論を経て、闘う方針と体制と団結をうち固めた。



勝利のために団結を
11月3日(休)9時開始
11月3日(休)9時開始
とこる 弁天小学校グラウンド
（旧鉄道病院裏、千葉労働金庫近く）
家族そろって参加しよう。

勝利の
11月3日(休)9時開始
団結祭典



理者に「本来の仕事にかえせ」とやり合っている。先日、修善寺の国労臨大にもいつてきた」と組合員を逆に励ますほどであった。

また、白井副支部長から全国物販オルグ中で、「全金山の仲間達から本当に苦しい中で仲間を裏切らないことがどれほど大切かを学んだ」と報告された。

そして、本部を代表して山口副委員長より、全国で広域配転で運転保安がおびやかされている一方で、人活にベテラン運転士が送りこまれている闘わなければ、敗ければ、当局は広域配転の送りこみを狙っている」と重要決戦段階に入ったことを訴えた。

活発な討論で第三波体制うち固める

経過報告などが行われた後、かけつけた本部・布施書記長をまじえ、活発な討論が展開され、第三波の闘いに決起する方針が確認され、十九時過ぎに支部長の団結ガンバローをもって終了した。

新たな執行体制

支部長	永田 雅章 (四二)	電運士
副支部長	白井 敏行 (四二)	"
書記長	後藤 俊哉 (二七)	"
執行委員	角田 清明 (四四)	"
"	江口 治男 (四二)	"
"	相原 照二 (四三)	"
"	林 利明 (三七)	"
青年部長	中村 仁 (二八)	"

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!